

2013 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 2 月 12 日作成)

小委員会名	既存中層 R C 建物の耐震性能評価小委員会	
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鉄筋コンクリート構造運営委員会)	主 査 名 : 稲井 栄一 就任年月 : 2011 年 4 月 委員長名 : 緑川 光正 主 査 名 : 塩原 等
設 置 期 間	2011 年 4 月 ~ 2015 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>[目的]中層 (7~14 階建て) の既存鉄筋コンクリート造建物 (格子形・ラチス形の既存鉄骨鉄筋コンクリート造建物を含む) および改修建物の耐震性能評価に関する技術の整備ならびに指針の作成</p> <p>・ [各年度活動計画]</p> <p>2011 年度 : 既存建物・改修建物のモデル化および解析手法の検討</p> <p>2012 年度 : 既存建物・改修建物の耐震性能評価法の検討</p> <p>2013 年度 : 既存建物・改修建物の耐震性能評価例の作成</p> <p>2014 年度 : 既存建物・改修建物の耐震性能評価指針の作成と PD の開催</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無 : 無	
	主査 : 稲井栄一 (山口大学) 幹事 : 藤本利昭 (日本大学)、北嶋圭二 (青木あすなろ建設) 委員 : 勅使川原正臣 (名古屋大学)、倉本洋 (大阪大学)、藤井賢志 (千葉工業大学)、松井智哉 (豊橋技術科学大学)、向井智久 (建築研究所)、渡辺一弘 (UR 都市機構)、梁川幸盛 (構造計画研究所)、以頭秀司 (竹中工務店)、久保田雅春 (飛島建設)、尾崎純二 (宇部興産)、田子茂 (堀江建築工学研究所)	
設置 WG (WG 名 : 目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 静的評価法 WG: (2011 年 12 月設置) [目的]耐力劣化を伴う既存建物・改修建物の地震応答の静的評価方法を構築する。 ・ 評価例作成 WG: (2011 年 12 月設置) [目的]作成する評価指針に基づいた評価例を作成する。 	
2013 年度予算	340,000 円	ホームページ公開の有無 : 無 委員会 HP アドレス :

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む) (年度内計画を含む)
刊行物 <small>(シンポジウム資料等は除く)</small>	
講習会	
催し物 <small>(シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画</small>	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 <small>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</small>	1. 耐力劣化を伴う既存建物の地震応答を、等価線形化法を用いて静的に評価する手法を作成した。 2. 耐力劣化する部材の復元力特性の資料収集とモデル化の検討を行った。 3. 評価検討対象として 3 つの集合住宅建物 (8F, 11F, 14F) を選定・モデル化し、評価例作成のための解析を実施した (一部未完了)。
委員会活動の問題点 ・ 課題	1. 耐力劣化を伴う建物の解析技術を、一般ユーザーが使用可能な解析ソフトに導入することに時間がかかっている。 2. 耐震性能評価指針 (耐力劣化を伴う既存建物の性能を等価線形化法を用いて評価するための指針) の作成が遅れている。